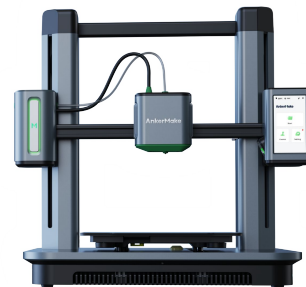
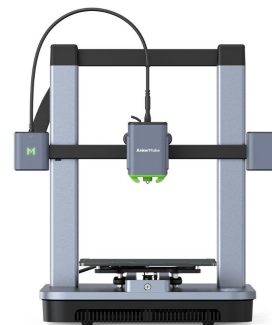


AnkerMake

AnkerMake アプリ / Studio セットアップガイド



AnkerMake M5



AnkerMake M5C

目次

〈AnkerMakeアプリ〉

[ステップ1:AnkerMakeアプリをインストールする](#)

[ステップ2:AnkerMakeアプリにアカウント登録/ログインする](#)

[ステップ3:3Dプリンターを追加する \(M5の場合 / M5Cの場合\)](#)

[ステップ4:プリントを開始する](#)

〈Slicerソフト「AnkerMake Studio」〉

[ステップ1:AnkerMake StudioをPCにインストールする](#)

[ステップ2:アカウント登録 / サインインする](#)

[ステップ3:スライス処理する](#)

[ステップ4:プリントする](#)

[アプリからスライスを開始する](#)

[AnkerMake Slicerソフトウェア \(旧版\) の使用方法](#)

AnkerMakeアプリ

ステップ1: AnkerMakeアプリをインストールする

App Store (iOS端末) またはGoogle Play (Android端末) からAnkerMakeアプリをインストールします。



Apple、Appleのロゴは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

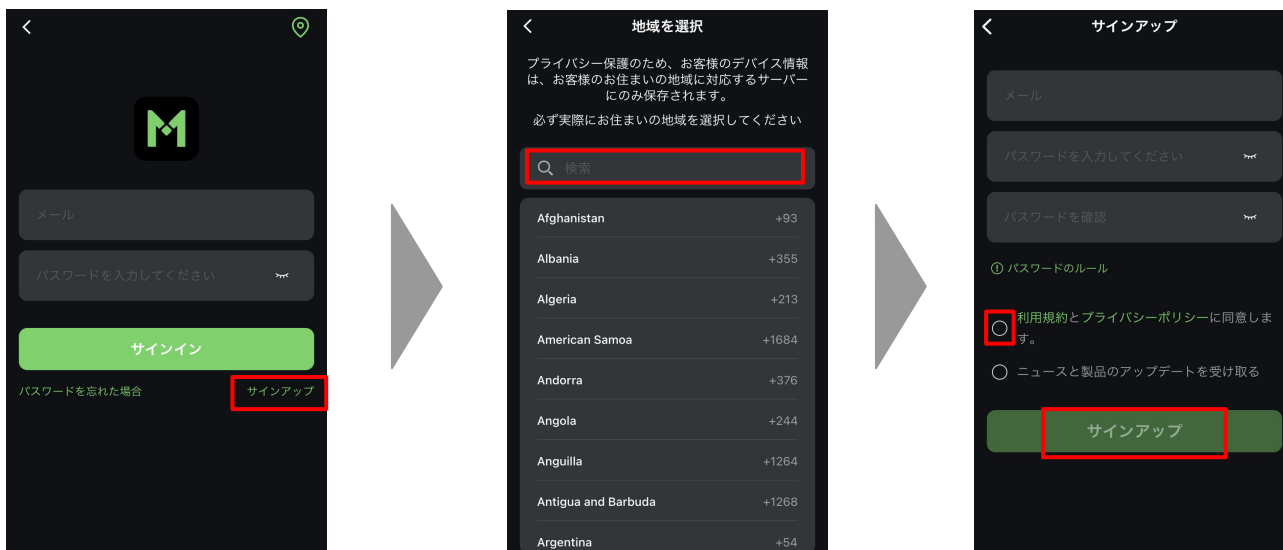
※ 製品の仕様は予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

ステップ2: AnkerMakeアプリにアカウント登録 / ログインする

● アカウント登録

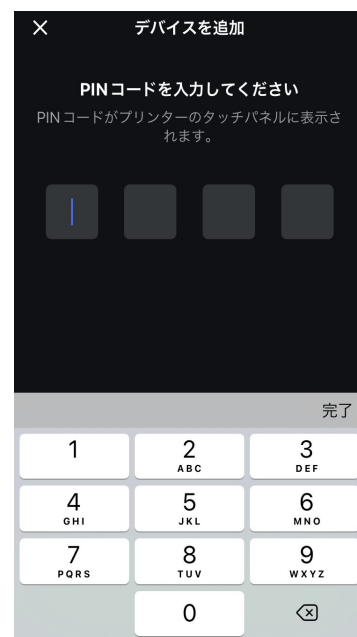
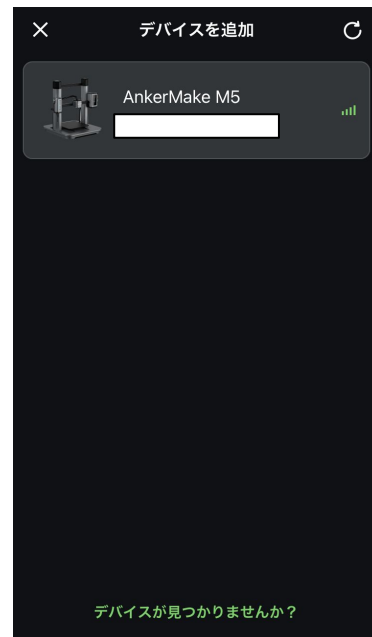
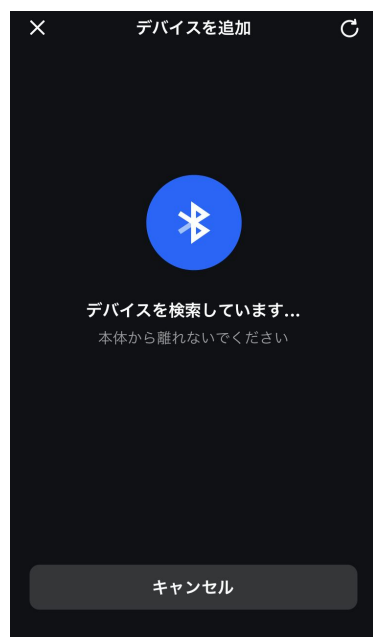
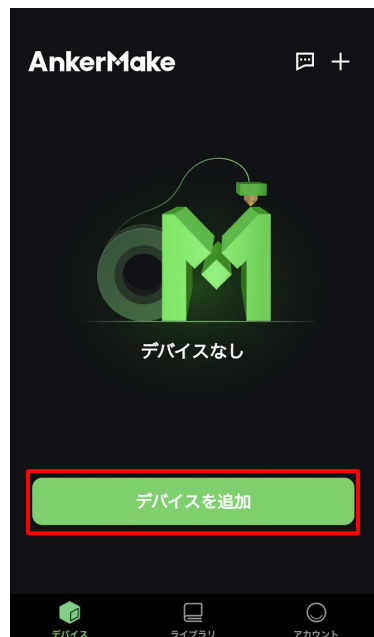
1. [ログイン] > [サインアップ] をタップします。
2. お住まいの地域を選択します(例: 日本の場合は"Japan" を選択します)。
3. メールアドレスと任意のパスワードを入力します。
4. 「利用規約とプライバシーポリシーに同意します」にチェックを入れて、[サインアップ] をタップします。

※ 既にAnkerが提供する他のアプリにアカウントをお持ちの場合は、同じアカウント情報でログインすることができます。



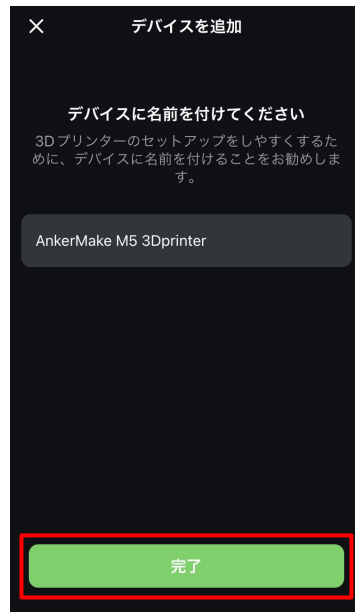
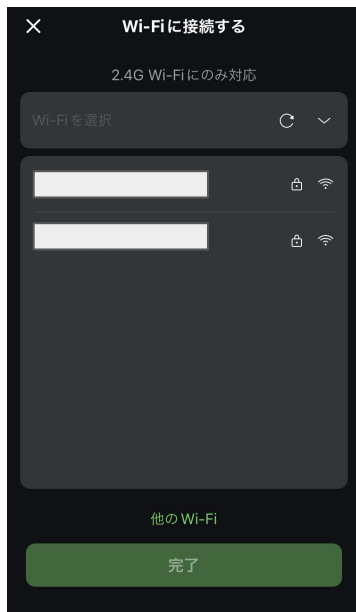
ステップ3:3Dプリンターを追加する (M5の場合)

1. お使いのスマートフォンのBluetoothをオンにし、「デバイスを追加」をタップして3Dプリンターに近づけます。
2. 「M5」を選択してデバイスが検出されたら、3Dプリンターのタッチパネルに表示されるPINコードをアプリ画面に入力し、「完了」をタップします。



3. Wi-Fiリストが表示されたら、接続するWi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力します。
4. デバイスに任意の名前をつけて「完了」をタップしたら、3DプリンターはWi-Fiに接続されます。

注意: 空港や地下鉄、ホテルなどの公共Wi-Fi (認証が必要なWi-Fi) には対応していません。また、ご利用いただけるのは2.4GHzネットワークのみです。



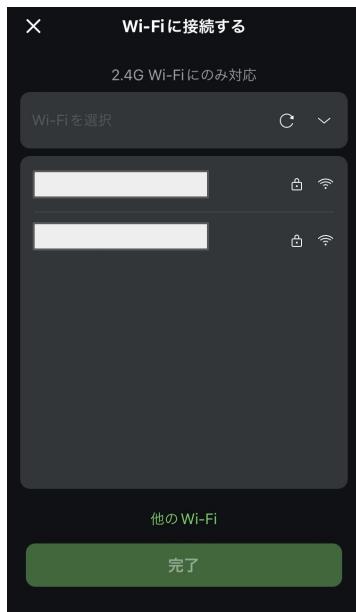
ステップ3:3Dプリンターを追加する (M5Cの場合)

1. お使いのスマートフォンのBluetoothをオンにし、「デバイスを追加」をタップして3Dプリンターに近づけます。
2. QRコード読み取り画面に切り替わったら、プリンターの背面にあるQRコードを読み取ります。
※ QRコードが読み取れない場合は、「Bluetooth検索」をタップして、手動で追加することもできます。
3. 3Dプリンターが検出されたら、プリンターの「操作ボタン」を1回押します。



3. Wi-Fiリストが表示されたら、接続する Wi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力します。
4. デバイスに任意の名前をつけて「完了」をタップしたら、3DプリンターはWi-Fiに接続されます。

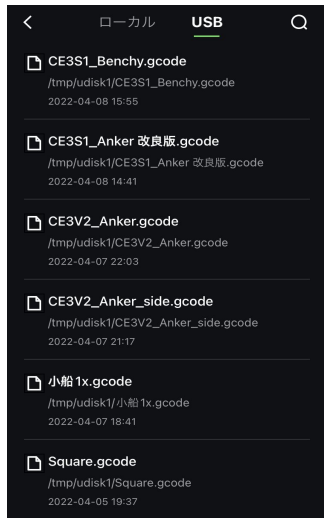
注意: 空港や地下鉄、ホテルなどの公共 Wi-Fi (認証が必要なWi-Fi) には対応していません。また、ご利用いただけるのは2.4GHzネットワークのみです。



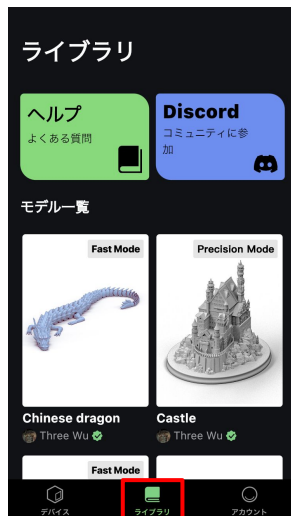
ステップ4: プリントを開始する

1. 「プリント」ボタンをタップして「ローカル」または「USB」からファイルを選択するか、「ライブラリ」からファイルを選択します。

- **ローカル** : デフォルトで、G-codeファイルがプリインストールされています (M5のみ)。
- **USB** : AnkerMake Studioまたは互換性のあるサードパーティスライサーソフトウェア (Cura、PrusaSlicerなど) を使用して、G-codeファイルを作成します。作成したG-codeファイルをUSBメモリType-C (別売り) に保存し、USBメモリを3Dプリンターに挿入します。挿入したUSBメモリのファイルが、タッチパネルの「USB」に表示されます。
- **ライブラリ** : AnkerMake提供のモデルです。AnkerMakeアプリからご確認いただけます。



注)
AnkerMakeのプリンターは、AnkerMake Studioと最も相性が良く、AI認識機能 (M5のみ) はAnkerMake Studioでのみご利用いただけます。



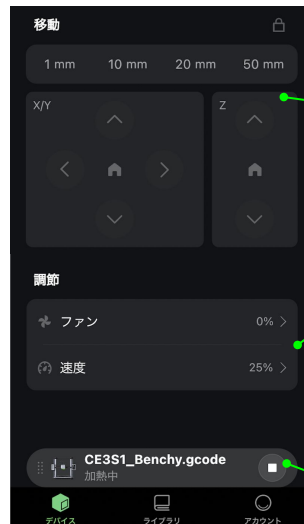
2. ファイルを選択したら、「プリント」をタップします。
3. ノズルとヒートベッドが、設定温度まで上昇するのを待ちます。設定温度に達すると、プリントが開始します。



プリント中の様子をリアルタイムで確認できます (M5のみ)

プリント完了までの残り時間を表示します

ノズルやヒートベッドの温度を変更できます



X/Y/Z軸の移動ができます (プリント停止中のみ)

ファンの稼働率とプリント速度を変更できます

プリントの一時停止/停止ができます

ノズルの押し出し / 引き戻しができます (プリント停止中のみ)

その他詳細は、Anker Japan公式サイトの製品ページをご参照ください。

AnkerMake Studio

ステップ1: AnkerMake StudioをPCにインストールする

AnkerMake Studioを以下のリンクからダウンロードし、お使いの PCへインストールしてください。



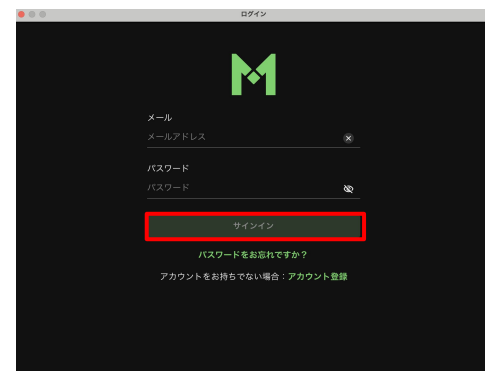
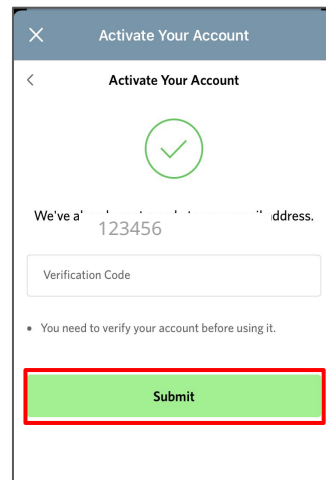
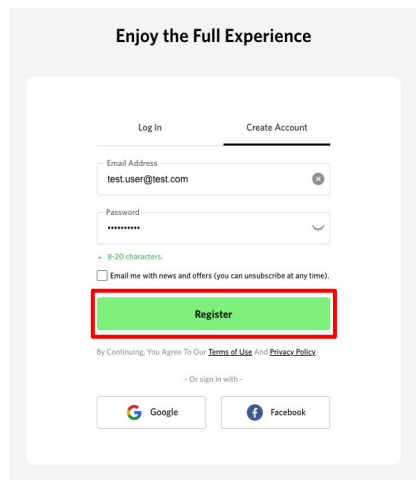
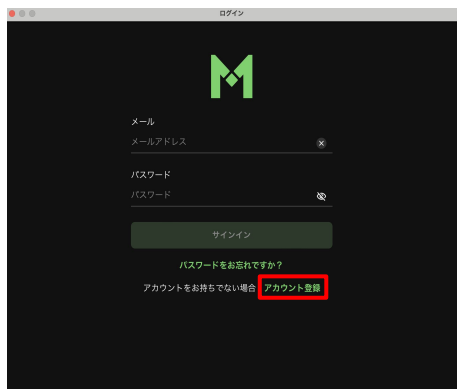
- [Windows向け](#)
- [Mac向け](#)

注意: 他社製のスライサーソフトウェアをご利用の場合、AI認識機能はご使用いただけません。

※ 製品の仕様は予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

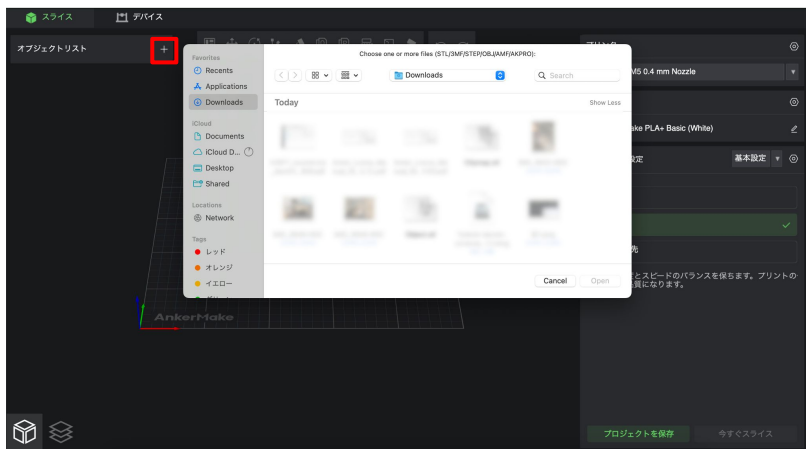
ステップ2: アカウント登録 / サインインする

1. AnkerMake Studioを起動して、メニューバーにある「アカウント」をクリックします。
※ AnkerMakeアプリで既にアカウント登録をしている場合は、「4」を参照してサインインしてください。
1. サインイン画面の下にある「アカウント登録」をクリックします。
2. アカウント登録用の英語サイトに移動したら、「Create Account」の画面でメールアドレス (Email Address) とパスワード (Password) を入力し、「Register」ボタンをクリックします。
3. 入力したメールアドレス宛てに確認メールが届いたら、メール内のリンクをクリックし、本文に記載の認証コード (※) を入力して「Submit」ボタンを押します。
※ “Your verification code is : XXXXXX” と記載がある部分
4. アカウント登録が完了したら、AnkerMake Studioのサインイン画面に戻り、メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

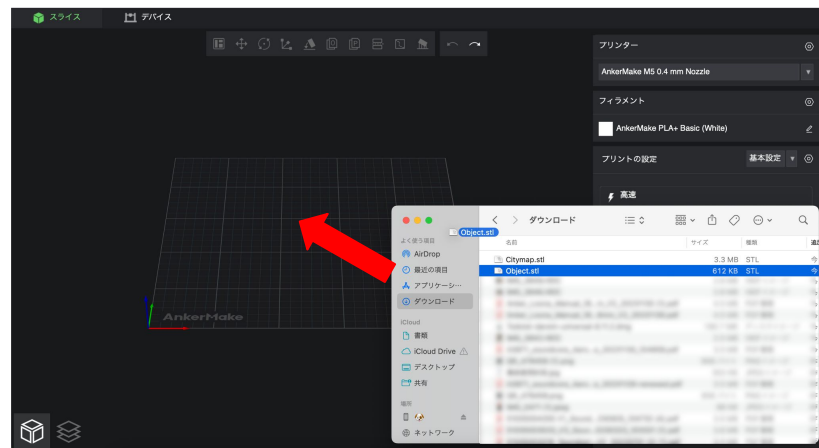


ステップ3:スライス処理する

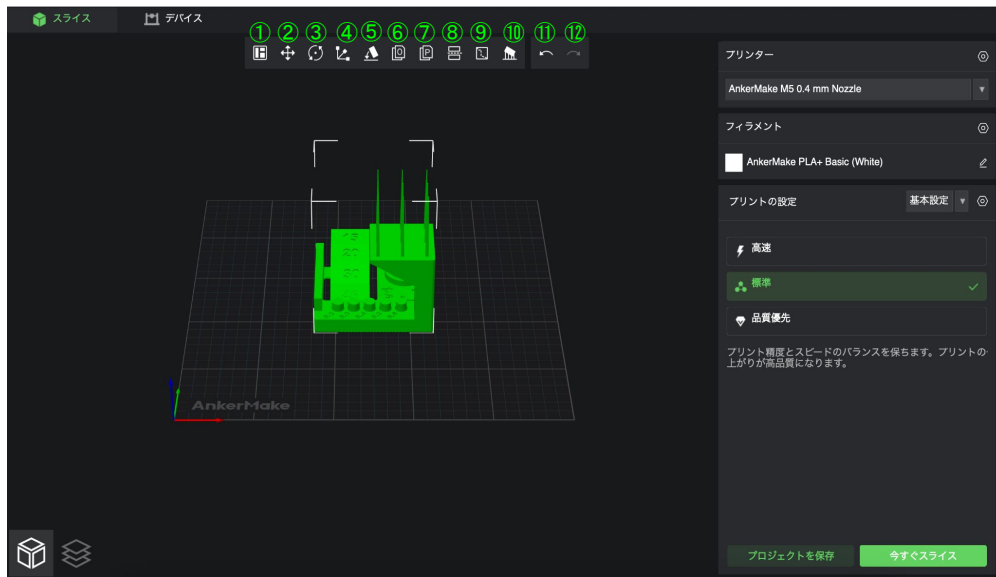
1. ホーム画面を開き、左上の「オブジェクトリスト」の「+」をクリックして、ファイルを選択します。
または、ファイルを画面中央にドラッグします。
注) AnkerMake Studioが対応しているファイル形式はSTL/OBJ/3MF/STEP/AMFで、STLはBINARYとASCIIに対応しています。
2. 画面中央に、モデルが表示されます。



または



3. 画面上部のツールバーから、必要に応じてモデルの造形を調整します。



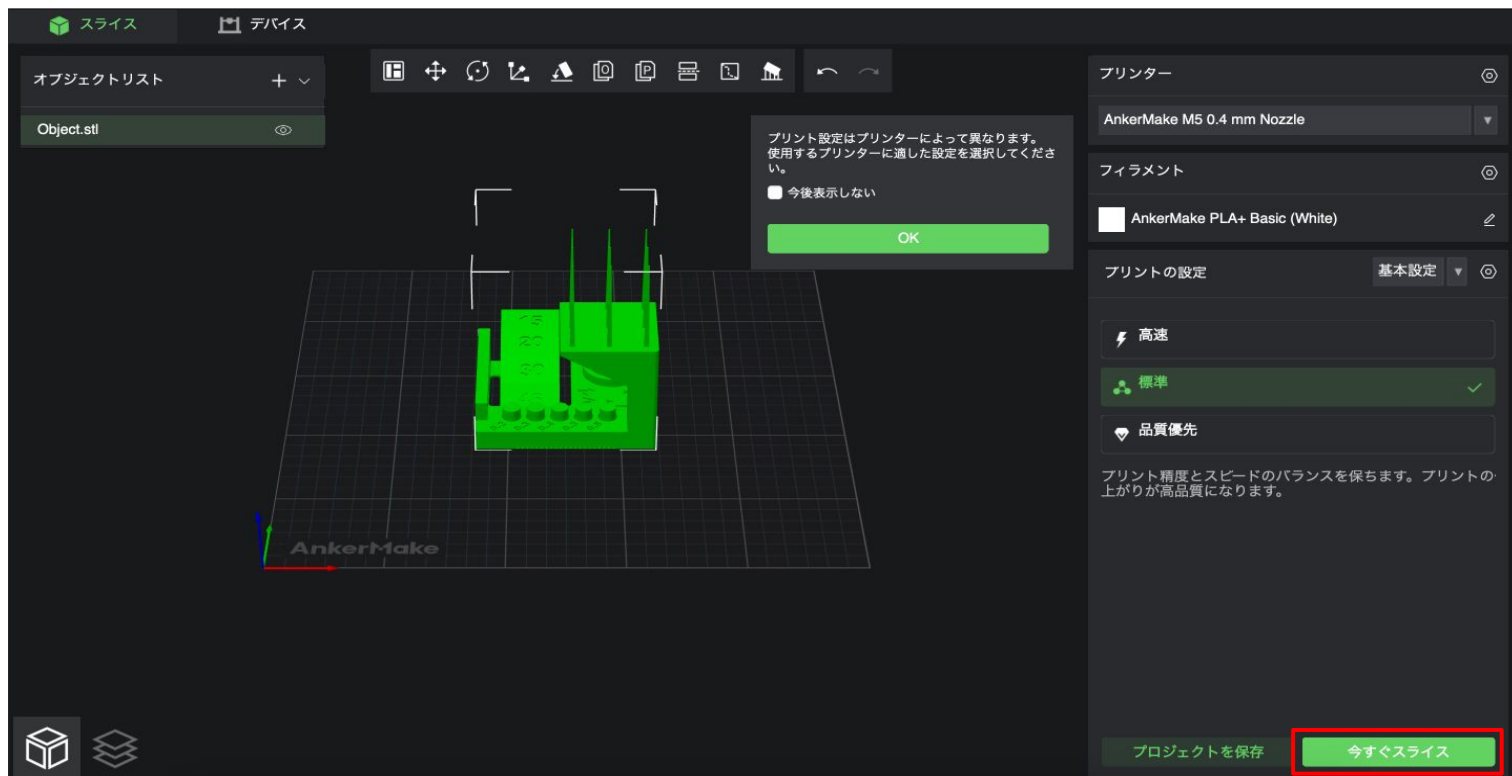
- ① **整列:**
モデルを自動で整列できます。
- ② **移動:**
モデルをXYZ方向に移動できます。
- ③ **回転:**
モデルをXYZ方向に回転できます。
- ④ **スケール:**
モデルを拡大 / 縮小できます。
- ⑤ **面に配置:**
指定した面を底面に配置できます。
- ⑥ **オブジェクトの分割:**
独立したパーツを個別に表示 / 編集
できます。
- ⑦ **パーツの分割:**
1つのモデルを細かいパーツに分割 / 表示
し、編集できます。
- ⑧ **カット:**
Z軸上でモデルをカットできます。
- ⑨ **シーム・ペインティング:**
シーム (モデルの継ぎ目) を移動
できます。
- ⑩ **ペイントオン・サポート:**
モデルに直接ペイントし、サポートの
生成と設定ができます。
- ⑪ **元に戻す:**
動作を元に戻します。
- ⑫ **再実行:**
動作をやり直します。

4. 画面右側のメニューから、必要に応じてプリンター/フィラメント/プリントの設定を変更します。

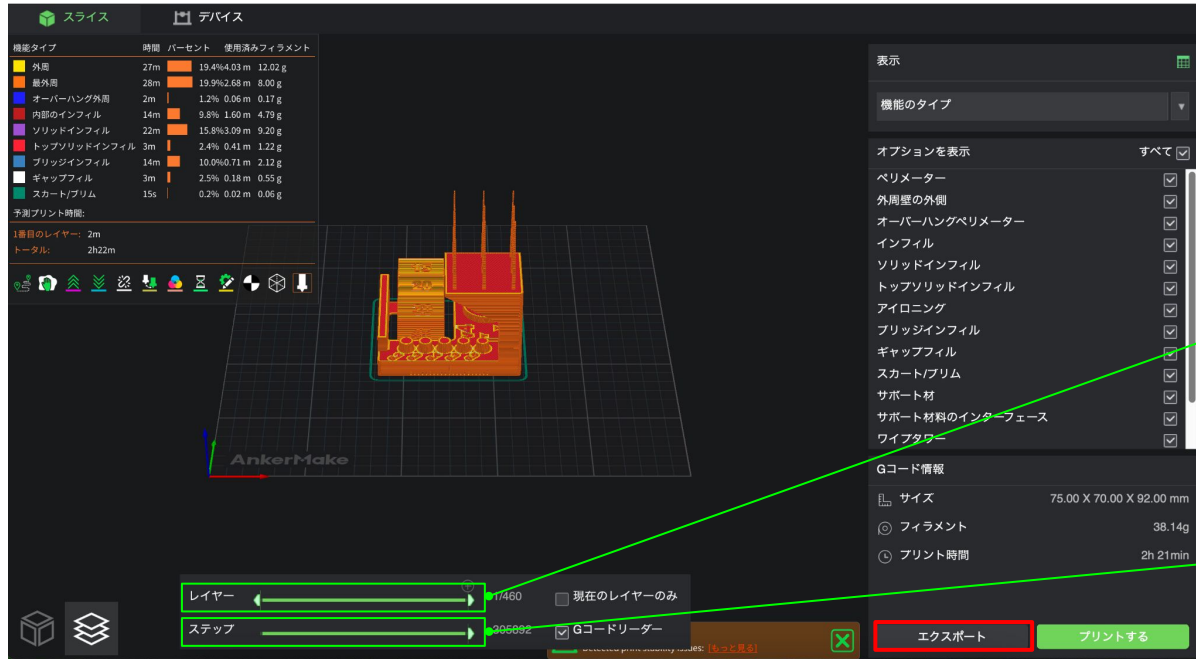
The image shows a central screenshot of a printer settings application with three callout boxes. The central interface is in Japanese and includes sections for 'プリンター' (Printer), 'フィラメント' (Filament), and 'プリントの設定' (Print Settings). The printer is set to 'AnkerMake M5 0.4 mm Nozzle' and the filament to 'AnkerMake PLA+ Basic (White)'. The print settings are currently set to '標準' (Standard). The callout boxes provide instructions on how to change these settings:

- Top Callout:** Points to the printer dropdown menu. The expanded menu shows 'AnkerMake M5 0.4 mm Nozzle', 'AnkerMake M5 All-Metal Hotend 0.4 mm Nozzle', and 'AnkerMake M5C 0.4 mm Nozzle'. The text below reads: 「使用するプリンターを選択できます」 (You can select the printer to use).
- Left Callout:** Points to the filament dropdown menu. The expanded menu shows various filament colors: White, AnkerMake Green, Black, Blue, Green, Grey, Orange, Pink, Purple, Red, and Yellow. The text below reads: 「フィラメントの素材や色を選択できます」 (You can select the filament material and color).
- Bottom Callout:** Points to the '基本設定' (Basic Settings) dropdown menu. The expanded menu shows 'Normal - M5 0.4mm - PLA+ Basic' and 'エキスパート' (Expert). The text below reads: 「エキスパート設定」を選択すると、高度な設定を変更できます (When you select 'Expert Settings', you can change advanced settings).

5. 右下の「今すぐスライス」ボタンをクリックしてスライス処理をします。



6. スライス処理が終わると、自動的にプレビュー画面が表示されます。
7. 右下の「エクスポート」ボタンをクリックすると、生成した G-codeファイルをPCのローカルフォルダやUSBメモリなどにエクスポートすることができます。



- レイヤーごとのプレビューを表示
- 指定のレイヤーで「+」ボタンを押すと、プリントの一時停止設定が可能

表示レイヤーのノズルの移動経路をプレビュー再生

注意:

- ・AnkerMake Studioでスライス処理したファイルは、gcodeもしくはacoodの2つのファイル形式で生成されます。Type-C USBメモリにコピーする際は、この2つのファイルを同時にコピーする必要があります。acoodファイルがないと、AI認識機能をご利用いただくことはできません。
- ・AI認識機能はAnkerMake Studioでスライス処理したファイルでのみご利用いただけます。

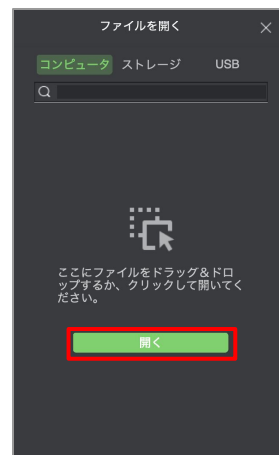
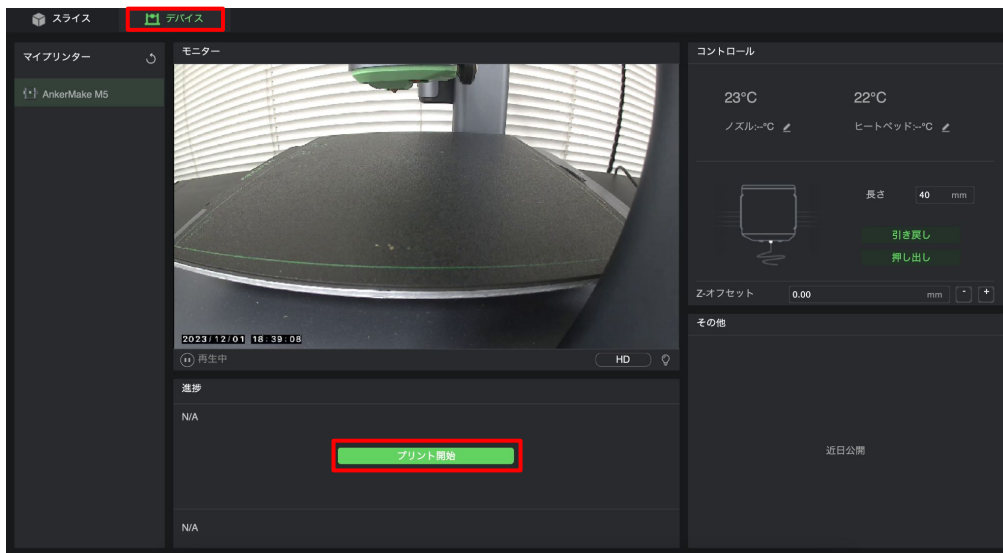
ステップ4:プリントする

プリントを開始する方法は、以下の4通りあります。

① AnkerMake Studio

AnkerMake Studioの「デバイス」ページを開き、「プリント開始」をクリックしてPCのローカルファイルまたは接続中のUSBメモリからファイルを選択し、「プリント開始」をクリックします。

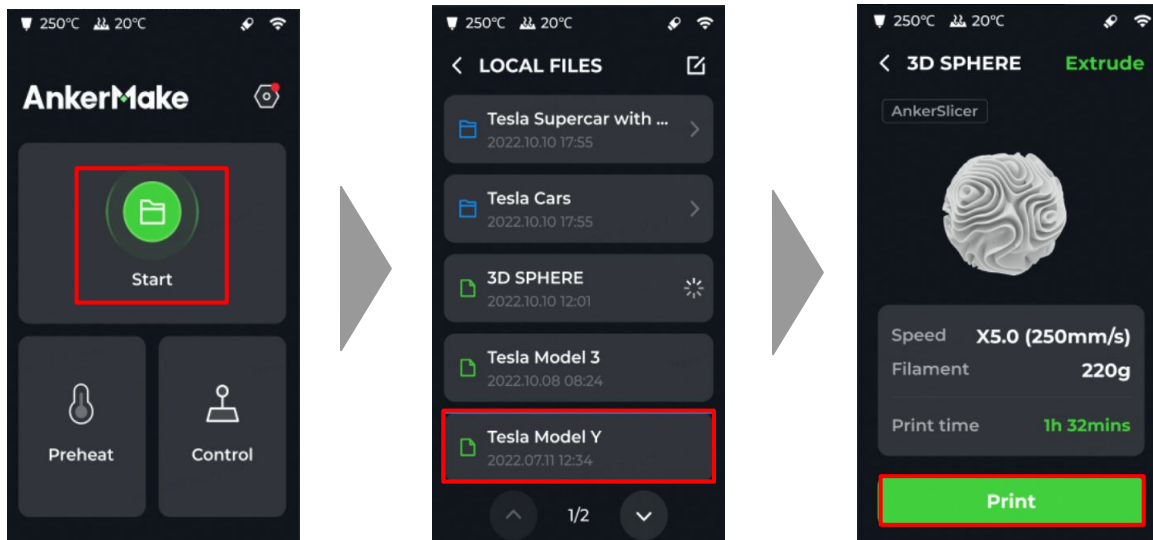
または、「ストレージ」からお好きなモデルを選択することも可能です。



② プリンターのタッチパネル (M5のみ)

データを保存したType-C USBメモリを3Dプリンターに挿入し、タッチパネルで [開始] > [USB] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

または、プリントしたいファイルが既にプリンターのローカルストレージに保存されている場合は、[開始] > [ローカル] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

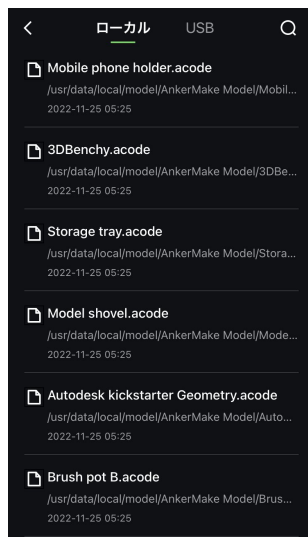


※ 実際のタッチパネルは設定した言語で表記されます

③ AnkerMakeアプリ

データを保存したType-C USBメモリを3Dプリンターに挿入し、AnkerMakeアプリのデバイス画面から[プリント] > [USB] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

または、プリントしたいファイルが既にプリンターのローカルストレージに保存されている場合は、[プリント] > [ローカル] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

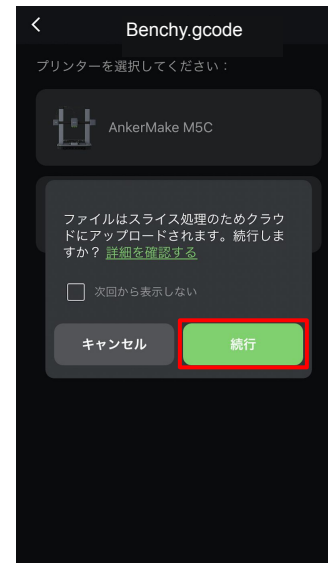
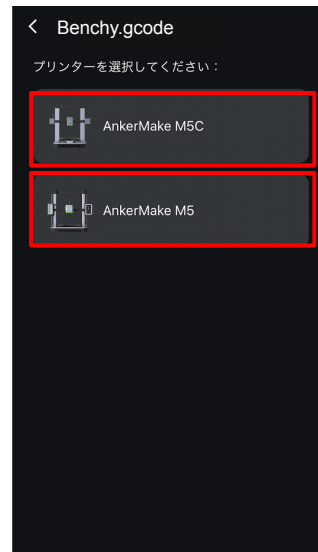
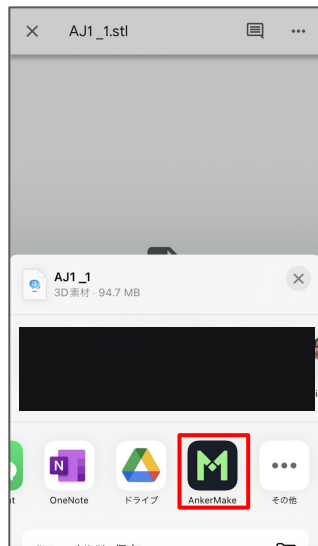


④ クラウドストレージ

※ クラウドからプリンターを開始するには、プリンターのファームウェアとアプリのバージョンを最新版に更新してください。

※ クラウドからプリントを開始できるのは、STL/OBJ形式のファイルのみです。

お客さまご自身のクラウドからプリントするファイルを選択し、[アプリで開く] をタップして「AnkerMake」アプリを選択します。使用するプリンターを選択し、[続行] をタップしてデータ転送が完了したら、プリントを開始します。

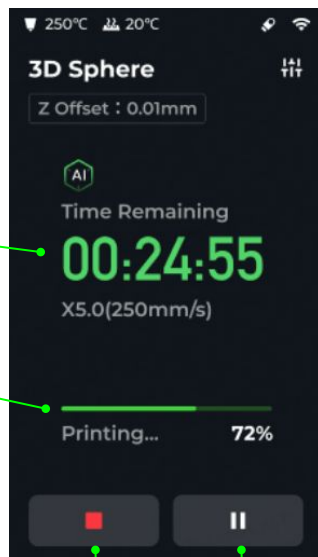


(M5のタッチパネル)

【プリント中】

残り時間

進捗

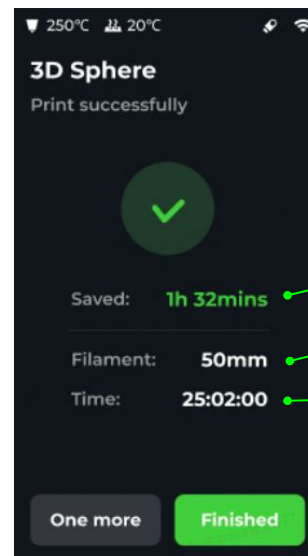


【プリント終了時】

節約できた時間

使用したフィラメントの長さ

かかった時間



プリントが終了し、プリンターの温度が十分に下がったら、PEIプレートをヒートベッドから取り外し、優しく折り曲げながら完成したモデルを取り外します。

注意:

- ・プリントを開始する前に、3Dプリンターのファームウェアが最新になっていることを確認してください。
- ・ヒートベッド (PEIプレート) のお手入れは素手で行わないでください。皮脂や汗で密着性が損なわれる可能性があります。消毒用アルコールで拭き取るか、石鹼水で洗浄し、十分に乾かしてご使用ください。

アプリからスライスを開始する

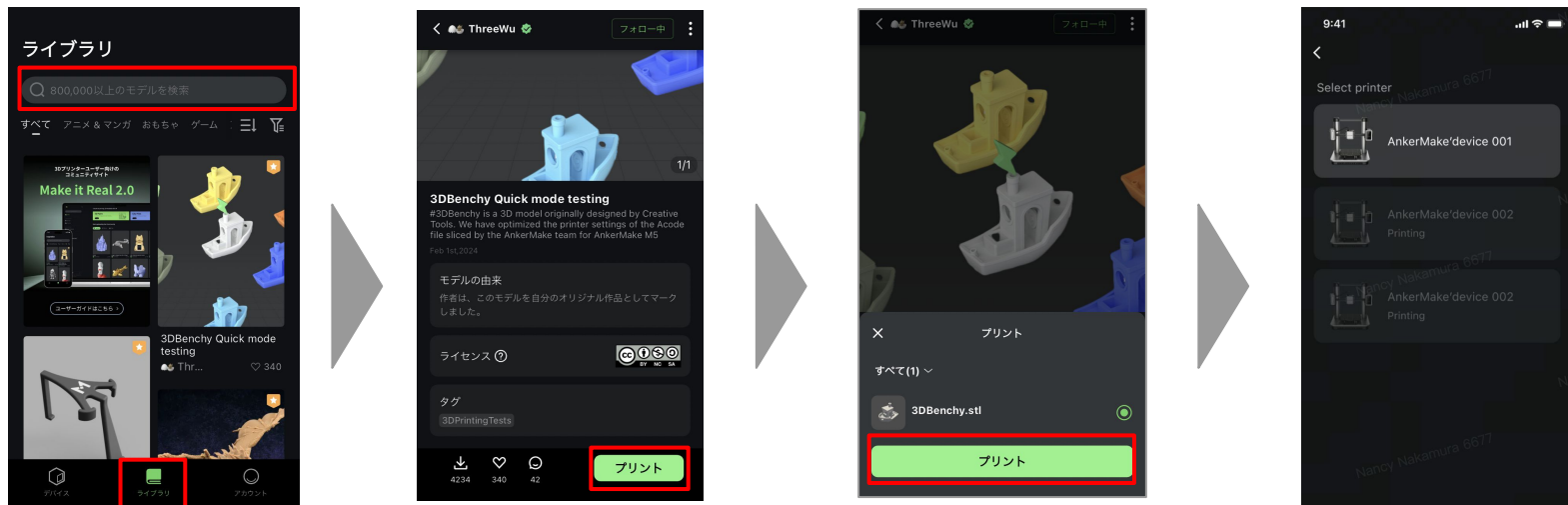
AnkerMakeアプリからSTL / OBJファイルのスライス処理を開始するには、次のページ以降の手順をご参照ください。

注) この機能をご使用いただくには、各システムを以下のバージョンに更新いただく必要があります。

- AnkerMakeアプリ: v1.3.0 以降
- Ankermake M5 (プリンター): v3.0.54以降
- Ankermake M5C (プリンター): v3.0.44以降

方法1:ライブラリからモデルを検索する

1. AnkerMakeアプリの「ライブラリ」から、プリントするモデルを選びます（検索窓やカテゴリから検索、絞り込みを行うこともできます）。
※ 当機能は、ThingiverseまたはPrintableで提供されているモデルに対応しています。
2. モデルを選択したら、「プリント」ボタンをタップします。
3. 使用するプリンターを選択すると、プリントが開始します。

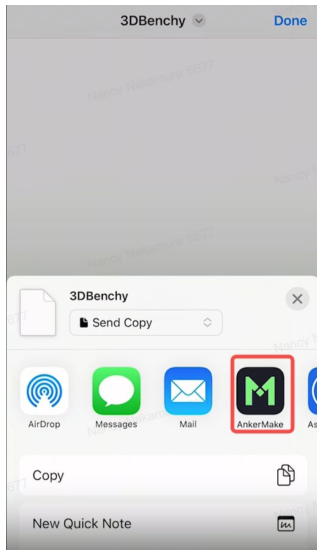


お好きなワードで検索できます

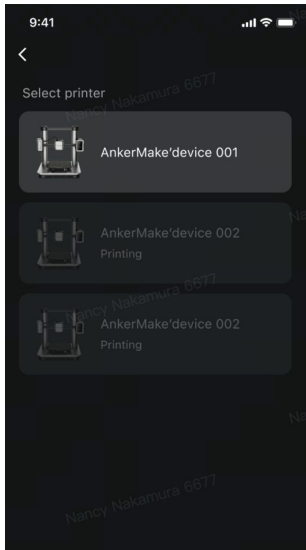
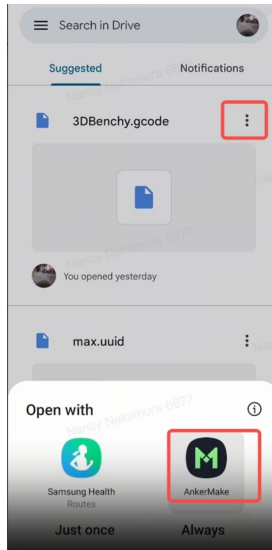
方法2: ファイルをアップロードする

1. お使いのスマートフォンのローカルストレージからプリントしたいファイルを選択し、 AnkerMakeアプリで開きます。
2. 使用するプリンターを選択します。
3. プレビューを確認し、必要に応じてスライス設定を変更して「プリント」をタップします。

iOS



Android



AnkerMake Slicer ソフトウェア (旧版) の使用方法

ご使用いただく前に

2023年12月に、AnkerMake用の新しいSlicerソフトウェアとして「**AnkerMake Studio**」がリリースされました。

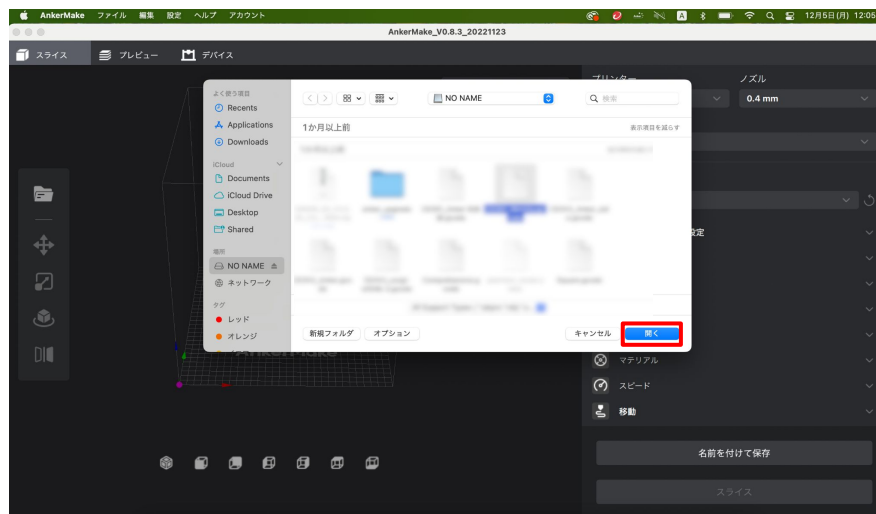
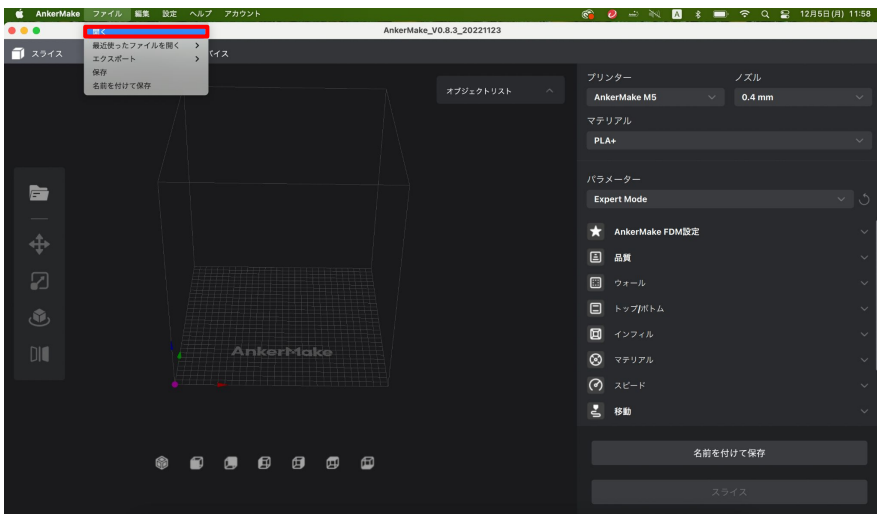
それまでのAnkerMake Slicerソフトウェア (旧版) も引き続きご使用いただけますが、今後こちらのシステム更新は行われません。

多色プリントを含む最新の機能をご利用いただくには、P.13～の手順に従って「AnkerMake Studio」をご使用ください。

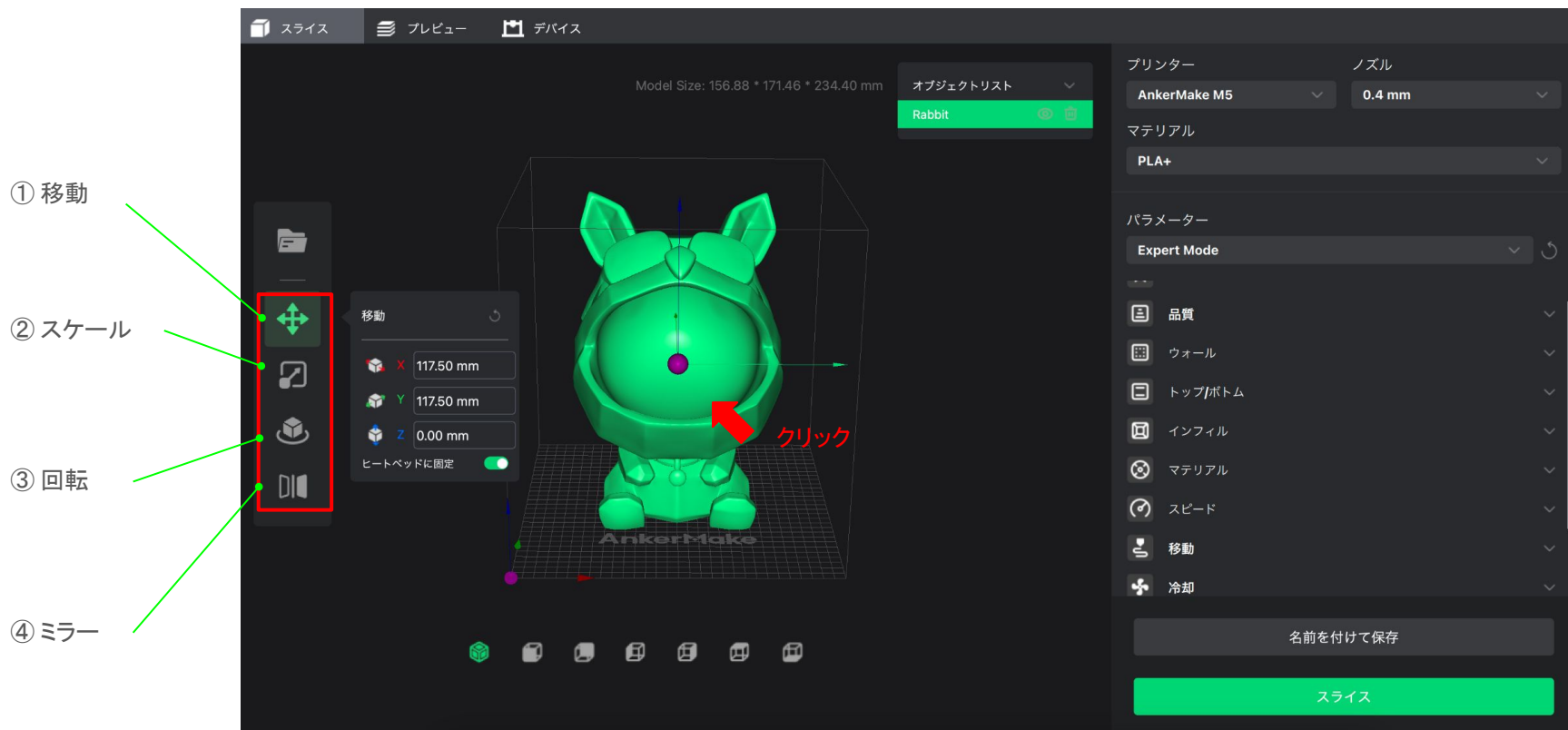
スライス処理する (旧版AnkerMake Slicerソフトウェア向け)

1. ホーム画面を開き、左上のメニューから「ファイル」>「開く」をクリックし、スライス処理をするオブジェクトのファイルを選択します。

注意: AnkerMake Slicerソフトウェアが対応しているファイル形式はOBJとSTLで、STLはBINARYとASCIIに対応しています。



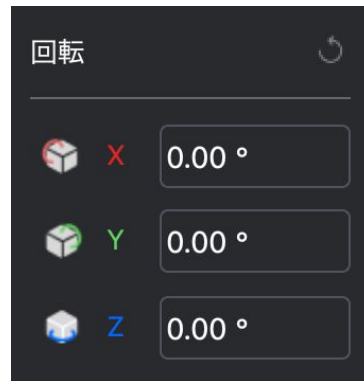
2. オブジェクトがロードされたら、オブジェクト本体をクリックし、左側のメニューからモデルの造形を調整します。
※ 詳細は次のページを参照





① 移動:

モデルを、手動もしくは数値を入力して動かします。



③ 回転:

モデルを回転させます。モデルをドラッグするか回転角度の数値を入力して回転させます。



② スケール:

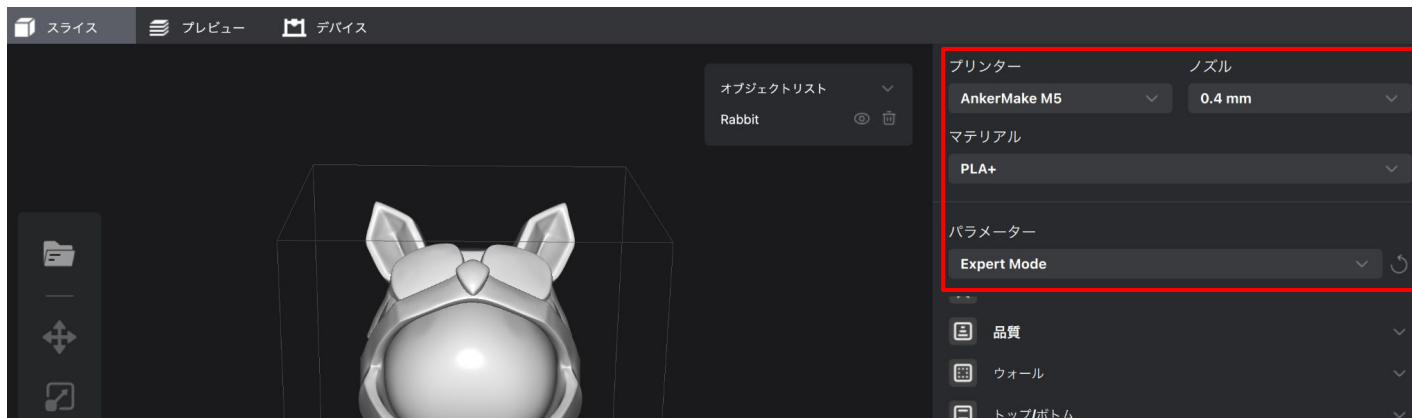
モデルを拡大もしくは縮小します。モデルをドラッグするか数値を入力し拡大 / 縮小させます。



④ ミラー:

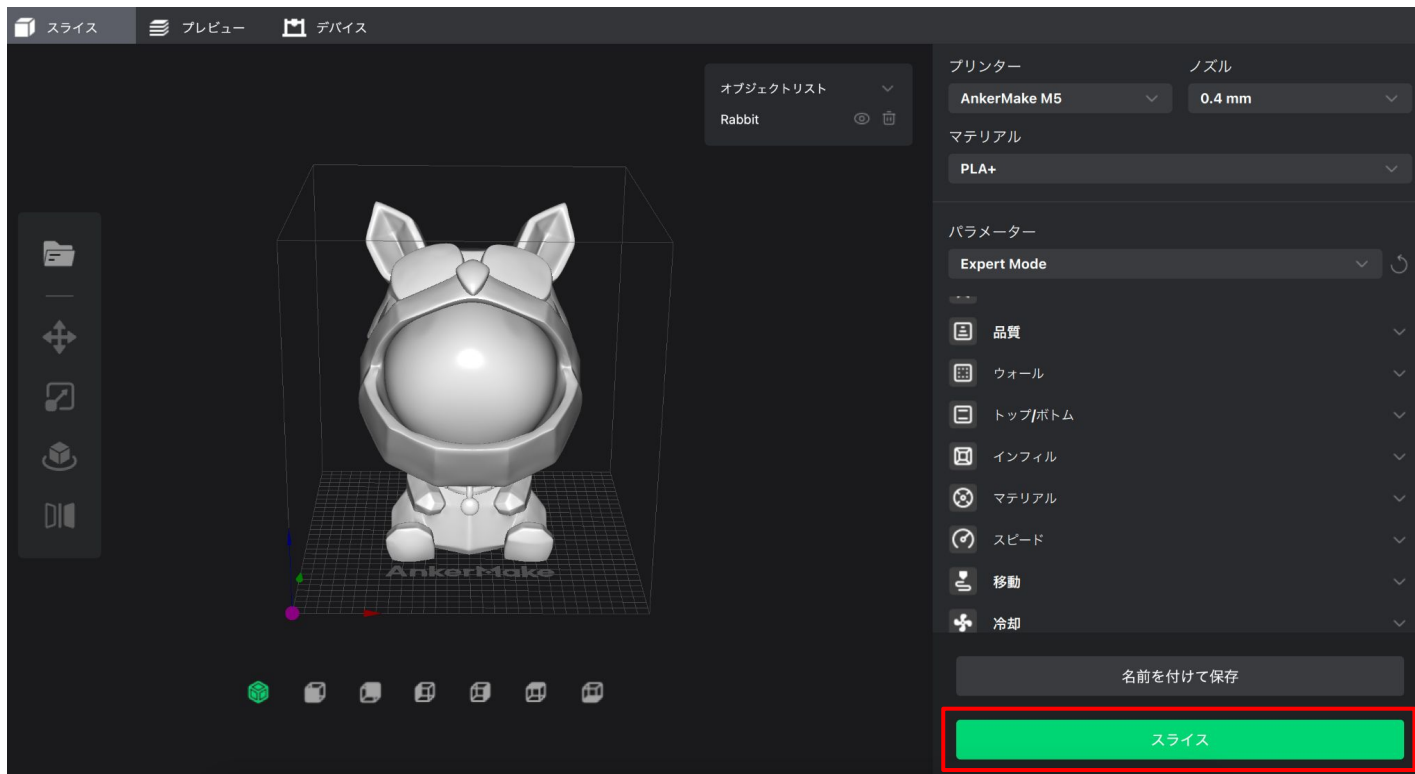
モデルを反転させます。

3. 右上のメニューから、プリンター (AnkerMake M5) / ノズルサイズ / マテリアル / パラメーターをそれぞれ選択します。



	基本設定	エキスパート設定
概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なパラメーターが変更可能 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのパラメーターが変更可能 全てのスライス処理に対応
対応マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> PETG / PLA+ / ABS (デフォルト) 	
変更可能なパラメーター	<ul style="list-style-type: none"> レイヤー高さ インフィル サポートの自動生成 接着サポート 	<ul style="list-style-type: none"> 全て

4. 右下の「スライス」ボタンをクリックしてスライス処理をします。



5. スライス処理が終わると、自動的にプレビュー画面が表示されます。
6. 右下の「エクスポート」ボタンをクリックすると、生成した G-codeファイルをPCのローカルフォルダやUSBメモリなどにエクスポートすることができます。

The screenshot displays the AnkerMake Slicer software interface. The main window shows a 3D model of a piggy bank with a grid overlay. The right-hand panel contains settings for 'ライントタイプ' (Line Type) and '消費済み' (Consumed). The 'ライントタイプ' section includes options for '内側ウォール' (Inner Wall), '外側ウォール' (Outer Wall), 'スキン' (Skin), '接着' (Adhesion), 'インフィル' (Infill), '移動' (Move), 'ズームング' (Zooming), 'サポート' (Support), and '不明' (Unknown). The '消費済み' section shows 'フィラメント' (Filament) at 332 g and '時間' (Time) at 11h 49m 30s. The bottom bar features a playback progress bar and an 'エクスポート' (Export) button highlighted with a red box. Green callout lines point to the 'ライントタイプ' settings, the '消費済み' section, the playback progress bar, and the 'エクスポート' button.

ライントタイプを表示

レイヤーごとのプレビューを表示

表示レイヤーのノズルの移動経路をプレビュー再生

エクスポート

注意:

- ・AnkerMake Slicerソフトウェアでスライス処理したファイルは、gcodeもしくはacoodの2つのファイル形式で生成されます。Type-C USBメモリにコピーする際は、この2つのファイルを同時にコピーする必要があります。acoodファイルがないと、AI認識機能をご利用いただくことはできません。
- ・AI認識機能はAnkerMake Slicerソフトウェアでスライス処理したファイルでのみご利用いただけます。

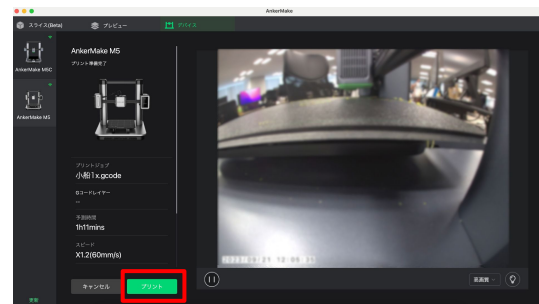
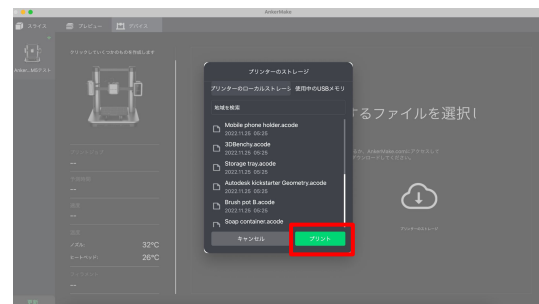
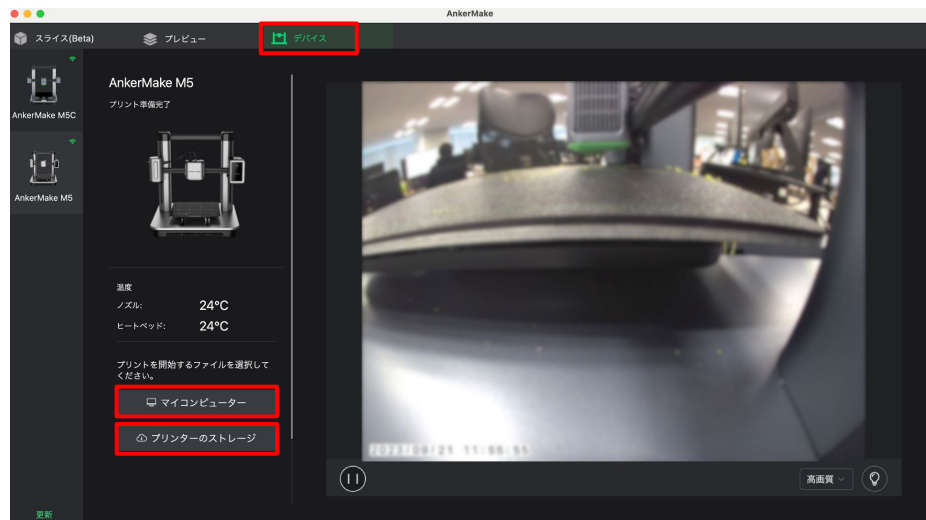
プリントする (旧版AnkerMake Slicerソフトウェア向け)

プリントを開始する方法は、以下の4通りあります。

① AnkerMake Slicer

AnkerMake Slicerの「デバイス」ページを開き、「マイコンピューター」をクリックしてPCのローカルファイルまたは接続中のUSBメモリからファイルを選択して「プリント」をクリックします。

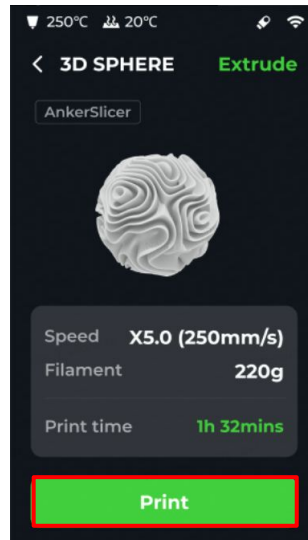
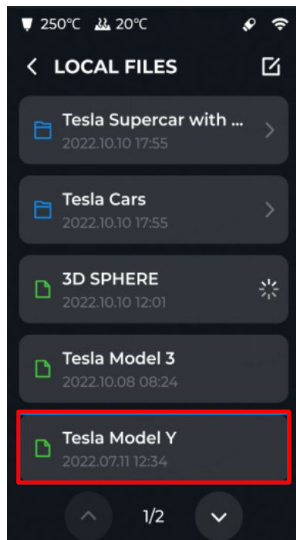
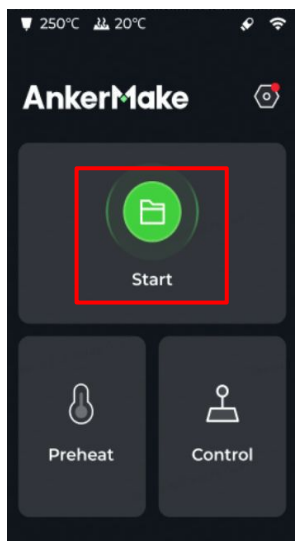
または、プリントしたいファイルが既にプリンターのローカルストレージに保存されている場合は、「プリンターのストレージ」をクリックしてファイルを選択し、「プリント」をクリックします。



② プリンターのタッチパネル (M5のみ)

データを保存したType-C USBメモリを3Dプリンターに挿入し、タッチパネルで [開始] > [USB] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

または、プリントしたいファイルが既にプリンターのローカルストレージに保存されている場合は、[開始] > [ローカル] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

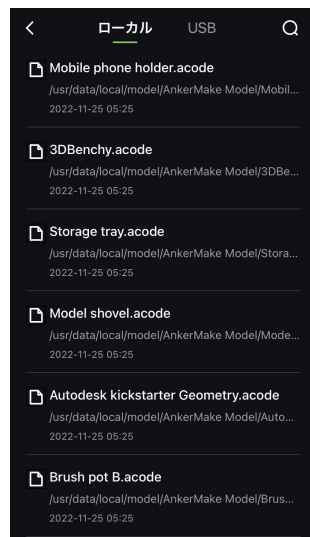


※ 実際のタッチパネルは設定した言語で表記されます

③ AnkerMakeアプリ

データを保存したType-C USBメモリを3Dプリンターに挿入し、AnkerMakeアプリのデバイス画面から[プリント] > [USB] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。

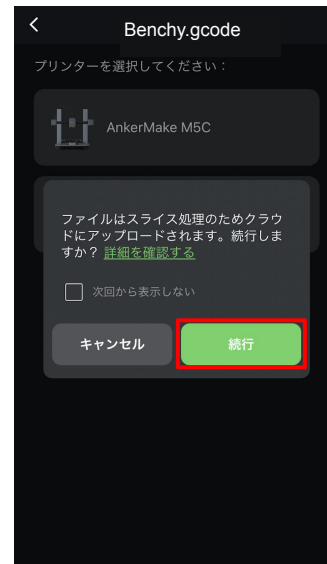
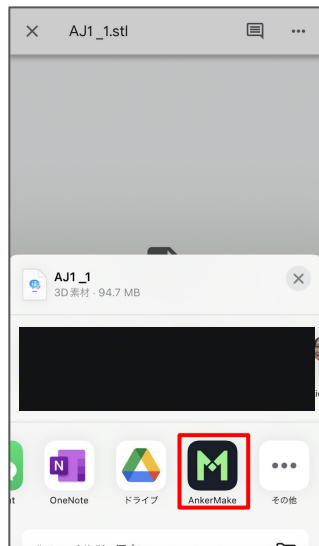
または、プリントしたいファイルが既にプリンターのローカルストレージに保存されている場合は、[プリント] > [ローカル] の順に進み、ファイルを選択して「プリント」をタップします。



④ クラウドストレージ

※ クラウドからプリンターを開始するには、プリンターのファームウェアとアプリのバージョンを最新版に更新してください。

お客さまご自身のクラウドからプリントするファイルを選択し、[アプリで開く] をタップして「AnkerMake」アプリを選択します。使用するプリンターを選択し、[続行] をタップしてデータ転送が完了したら、プリントを開始します。



AnkerMake